

2021年4月14日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

「QRC (Quick Risk Check) サービス」の提供開始 ～中小規模工場へのリモートによる防火対策強化支援サービス～

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）とSOMPOリスクマネジメント株式会社（取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）は、4月1日にリモートによる「中小規模工場を対象とした防火対策強化支援サービス（名称：QRC サービス、以下「本サービス」）」の提供を開始しました。

1. 背景

工場建物からの火災発生件数は2015年までは減少傾向が続いていましたが、ここ数年は反転して緩やかな増加傾向※にあります。損保ジャパンとSOMPOリスクは、火災保険の補償とあわせて、火災事故を未然に防止することを目的とした防火コンサルティングサービスを提供してきました。

しかしながら、企業側の費用負担、現地調査の事前準備・当日の人的負担および時間的負担などの面から、中小規模工場へのコンサルティングサービスの提供は限定的でした。また、コロナ禍において感染拡大防止の観点から現地調査を不可と判断される企業が増えています。

これらの背景をふまえ、中小規模工場の防火対策強化に広く貢献することを目的として、SOMPOリスクは、費用を抑えつつも、短時間での工場の実態把握、防火上の課題抽出、および「図表・説明文」だけでなく「音声」による改善提案事項の解説を提供する非接触型の防火対策強化支援サービスの提供を開始することとしました。

※ 平成20年版から令和2年版消防白書の「建物火災の火元建物用途別の損害状況」

<https://www.fdma.go.jp/publication/>

2. 本サービスの概要

(1) 内容

お客さまに Web 上で防火に関する質問（50問）をご回答いただき、その結果をもとに、以下の内容をご提供します。

- ・ 工場の防火対策レベルを示すレーダーチャートを含む報告書（PDFファイル）
- ・ 改善提案※を記載した画像を音声で解説（Web上：有効期間3か月）

※ 報告書（PDFファイル）でもご提供します。

(2) 特長

- ① 質問（50問）は多くの工場で該当する一般的かつ重要な項目のため、現在の防火対策レベルを把握できます。
- ② 質問をWeb上で確認できるため、部外者と非接触で、お客さまのご都合に合わせたタイミングと場所でご回答いただけます。
- ③ 求められる防火対策レベルに達するために、第三者目線で具体的な改善提案を行います。
- ④ 画像と音声で改善提案事項を解説するため、視覚と聴覚を用いることで理解を促進できます。
- ⑤ 質問へのご回答から短期間（数日）で「報告書」と「Web上での改善提案内容」をご確認いただけます。
- ⑥ 複数敷地を対象に実施し、横並び評価により、各工場の重要強化ポイントが把握できます。

(3) 費用・期間

① 費用*

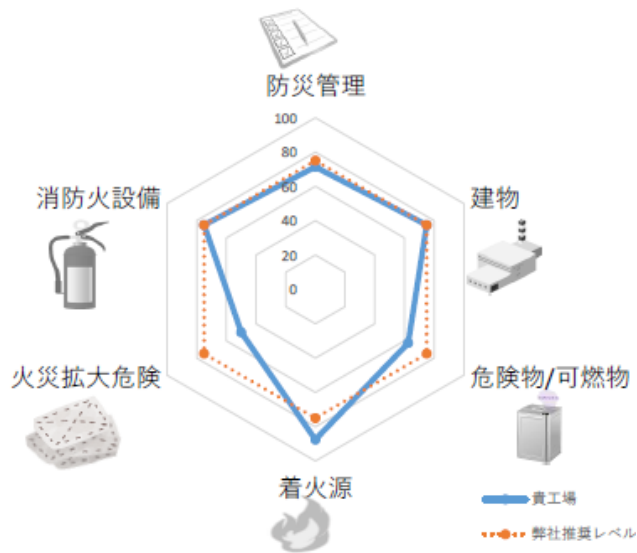
126,500円/工場（税抜価格115,000円）

※ 同時に多数の拠点をご依頼いただく場合の費用は応相談

② 期間（ご依頼から報告書の送付および音声付画像のWEB上へのアップロードまでの標準的な目安）

1週間程度

【報告書（PDF ファイル）に記載されるレーダーチャートのイメージ】



3. 今後の展開

SOMPOリスクは、本サービスを通じて、感染防止対策と企業のリスクマネジメント活動の両立に向けた支援を行い、防火対策レベル向上に貢献していきます。また、損保ジャパンは、本サービスと火災保険を組み合わせたリスクマネジメント提案を行い、お客さまのリスクの低減につなげていきます。

以上